

令和 4 年 1 月 1 2 日
午後 1 時 発表



【問い合わせ先】
第一管区海上保安本部交通部
安全対策課長 堤 憲一郎
TEL 0134-27-0118 (内線 2640)

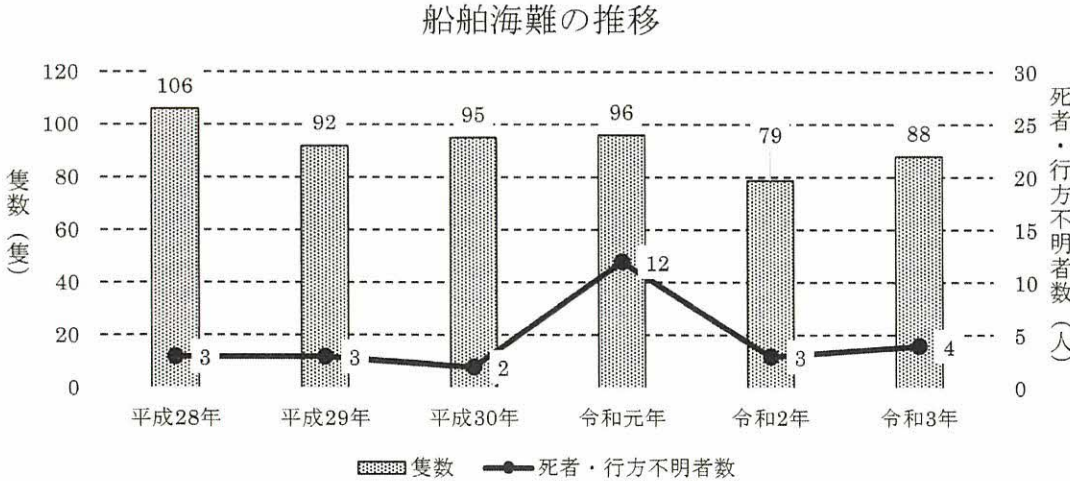
令和 3 年における海難発生状況 (速報値)

船舶海難隻数は88隻	前年に比べ9隻増加
人身海難者数は197人	前年に比べ10人増加

第一管区海上保安本部管内における昨年 1 年間の海難発生状況は次のとおりです。
なお、当広報でお知らせする令和 3 年のデータは速報値であるため、今後変更されることがあります。

1 船舶海難の発生状況 (内訳：別紙 1)

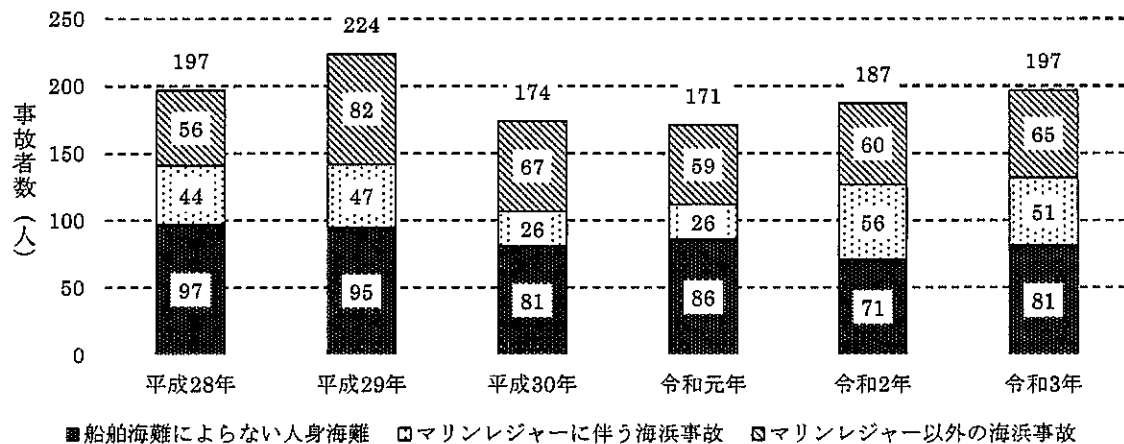
船舶海難隻数は 88 隻 (前年比 9 隻増。以下カッコ内は前年比。) で、船舶海難に伴う死者・行方不明者数は 4 人 (1 人増) でした。



2 人身海難の発生状況（内訳：別紙2）

人身海難者数は197人（10人増）で、うち船舶海難によらない乗船者の人身海難者数は81人（10人増）、マリレジャーに伴う海浜事故者数は51人（5人減）、マリレジャー以外の海浜事故者数は65人（5人増）でした。

人身海難の推移



【用語】

船舶海難 海上における船舶に衝突、転覆、乗揚、浸水、爆発、火災、行方不明、機関・推進器・舵等の損傷又は故障、その他安全な運航が阻害された事態が生じた場合をいう。

人身海難 船舶海難によらない乗船者の人身海難、マリレジャーに伴う海浜事故及びマリレジャー以外の海浜事故をいう。

船舶海難によらない乗船者の人身海難

衝突、乗揚、転覆等の船舶海難以外の事由により発生した船舶の乗船者の海中転落、負傷、病気等をいう。

マリレジャーに伴う海浜事故

遊泳中や釣り中などマリレジャー中の事故をいう。

マリレジャー以外の海浜事故

岸壁等からの海中転落や自殺等をいう。

船舶海難の発生状況

1 船舶海難隻数

(1) 船舶用途別 (隻)

(速報値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年
漁船	62	54	45	33	31	37
プレジャーボート [※]	29	22	23	40	22	27
貨物船	6	5	11	14	9	8
遊漁船	4	0	4	3	2	4
旅客船	2	2	3	2	1	2
作業船	0	1	1	1	1	1
タンカー	1	0	3	0	3	2
その他	2	8	5	3	10	7
合計	106	92	95	96	79	88

TOPIC
TOPIC

※ プレジャーボート：スポーツ又はレクリエーションに用いられるモーターボート、ヨット、水上オートバイ、ゴムボート及び手漕ぎボート。

TOPIC

漁船海難は一人乗りの小型漁船が 11 隻(8 隻増)、プレジャーボート海難はモーターボートが 12 隻(3 隻減)と減少した一方で、免許を要さないミニボート等が 7 隻(6 隻増)と増加しています。

(2) 海難種類別 (隻)

(速報値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年	令和 3 年
衝突 ^{※1}	25	16	30	12	13	18
単独衝突 ^{※2}	5	3	6	12	9	5
乗揚	2	6	4	10	8	12
転覆	17	9	4	7	5	5
浸水	14	8	7	6	6	11
火災	2	4	3	6	5	3
爆発	0	0	0	0	1	0
運航不能 ^{※3}	39	38	38	42	32	32
その他 ^{※4}	2	8	3	1	0	2
合計	106	92	95	96	79	88

TOPIC

※1 船舶が、他の船舶との接触により損傷を生じたもの。

※2 船舶が、物件(岸壁、防波堤、漂流物等)との接触により損傷を生じたもの。

※3 機関故障、推進器障害、舵障害、燃料欠乏、無人漂流など。

※4 船位喪失、船体行方不明など。

TOPIC

乗揚は 12 隻(4 隻増)と過去 5 年間で最も多く、発生海域別に見ると、沿岸部の浅瀬(岩・砂)への乗揚が 6 隻(2 隻増)、港口付近に敷設された定置網への乗揚が 4 隻(2 隻増)、その他が 2 隻(増減なし)となっています。

2 船舶海難に伴う死者・行方不明者数（人）

（速報値）

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
死者	3	2	2	5	3	4
行方不明者	0	1	0	7	0	0
合計	3	3	2	12	3	4

TOPIC

TOPIC

死者 4 人はすべて漁船乗船者であり、そのうち 3 人は、5 月に発生した紋別沖衝突事故によるもの。

人身海難の発生状況

人身海難者数 (人)

(速報値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
①船舶海難によらない乗船者の人身海難	97(15)	95(17)	81(20)	86(19)	71(17)	81(15)
②マリンレジャーに伴う海浜事故	44(18)	47(24)	26(7)	26(9)	56(16)	51(17)
③マリンレジャー以外の海浜事故	56(37)	82(60)	67(49)	59(42)	60(45)	65(43)
合計	197(70)	224(101)	174(76)	171(70)	187(78)	197(75)

() は死者・行方不明者を示す

① 船舶海難によらない乗船者の人身海難 (人)

(速報値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
海中転落	11(4)	15(11)	10(8)	10(7)	14(8)	10(5)
負傷	58(6)	55(2)	43(1)	41(2)	30(1)	46(2)
病気	23(5)	23(4)	25(10)	31(8)	24(5)	25(8)
中毒	0(0)	2(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)
自殺	1(0)	0(0)	1(1)	2(2)	3(3)	0(0)
帰還不能	4(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
その他	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	97(15)	95(17)	81(20)	86(19)	71(17)	81(15)

() は死者・行方不明者を示す

TOPIC

負傷 46 人 (16 人増) は前年から大きく増加しました。

漁船での発生は 29 人(11 人増)と 6 割を占めています。

操業中に揚網機に巻き込まれる事故が 15 人(9 人増)、高所から甲板下の魚倉等への転落事故が 5 人(3 人増)、作業中にバランスを崩し転倒する事故が 4 人(3 人増)と多く発生しています。

TOPIC

② マリンレジャーに伴う海浜事故 (人)

(速報値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
釣り中	21(9)	35(15)	11(5)	17(7)	36(10)	23(10)
遊泳中	11(6)	10(7)	5(0)	1(0)	16(4)	20(6)
磯遊び中	4(1)	0(0)	1(1)	3(1)	2(2)	2(1)
サーフィン中	2(0)	0(0)	0(0)	3(0)	0(0)	2(0)
ボードセーリング中	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
上記以外の事故	6(2)	2(2)	9(1)	1(1)	2(0)	4(0)
合計	44(18)	47(24)	26(7)	26(9)	56(16)	51(17)

() は死者・行方不明者を示す

TOPIC

TOPIC

TOPIC

釣り中の事故は 23 人(13 人減)と大幅に減少しました。前年は5月のGW期間に石狩湾港において 11 人が防波堤上に取り残された事故(帰還不能)が発生しましたが、令和3年は同種事故の発生はなく、事故者の減少に繋がっています。また、令和3年の釣り中の事故者 23 人の内訳は、すべてが海中転落者であり、前年比 1 人増と例年並みに発生しています。

遊泳中の事故は 20 人(4 人増)と過去5年間で最も多く、そのうち溺水は 12 人(6 人増)、帰還不能は 8 人(1 人減)となっており、20 人中 18 人が海水浴場以外の海域で発生しています。死者・行方不明者 6 人(2 人増)はすべて溺水によるもので、そのうち 5 人は海水浴場以外の海域で発生しています。

③ マリンレジャー以外の海浜事故 (人)

(速報値)

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年
海中転落	21(16)	27(15)	28(17)	22(15)	27(18)	26(13)
負傷	0(0)	0(0)	3(1)	0(0)	1(0)	1(0)
病気	0(0)	0(0)	0(0)	2(0)	1(0)	1(0)
中毒	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)
自殺	32(19)	41(35)	31(27)	30(23)	25(22)	33(26)
溺水	2(2)	8(6)	4(3)	4(4)	4(3)	1(1)
帰還不能	1(1)	2(1)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)
その他	0(0)	3(3)	0(0)	1(0)	2(2)	3(3)
合計	56(37)	82(60)	67(49)	59(42)	60(45)	65(43)

TOPIC

TOPIC

() は死者・行方不明者を示す

TOPIC

自殺によるものが 33 人(8 人増)と大きく増加しました。

そのほか、海中転落事故が 26 人(1 人減)と多く発生しており、そのうち車両による海中転落が 10 人(1 人増)で、5 人(増減なし)が死亡しています。